

リナグリプチンの心血管リスク に対する長期安全性

心血管（CV）リスクの高い2型糖尿病（DM）患者を対象に、リナグリプチンの影響を評価した結果が JAMA 誌に掲載されました。



追跡期間中央値 2.2 年の主要評価項目（CV 死亡、非致死性心筋梗塞、非致死性卒中の複合）発生率は、リナグリプチン群 12.4%、プラセボ群 12.1%（ $P < 0.001$ ）でありました。